

## にしとべの丘



## いつまでたっても西中生

 こうちょう いしかわ ひろし  
 校長 石川 博

11月の初旬まで「今日は夏日」という日がありましたが、もう師走を迎えるのか、という感覚です。学校では後期の中間テストが終わり12月1日からは三者面談を行い、3年生は進路先を決めていくことになります。

先日、今年20歳になるという卒業生4名が来校しました。事前に連絡があり、成人式の同窓会を行うにあたり、母校の動画を撮りたいとの希望で、これを許可しました。当時からいる職員と会話が弾み、とても楽しそうでした。肝心の動画はどれほど撮れたのかは不明ですが、晴天で夕焼けがきれいだったので「西中一番の推しスポット」として屋上を案内し、夕焼けの富士山を見てもらいました。「(こんな景色が見られるとは)知らなかった」と自撮りやら記念撮影をしていました。後日、お礼の手紙が届き、夕焼けの富士山のことや西中で学んだこと、これからの学ぶべきことなども綴られていました。しっかりした青年に成長したものだと感じました。

さらに前にさかのぼりますが、グラウンドの擁壁工事が始まってしばらくした頃、桜の木の近くからタイムカプセルが出てきました。中に入っているものから何年のものかがわかりましたので、当時の担任を探し、連絡を取りました。当時の担任のお二人とも市内の中学校に勤務していて、一人は中学校長でした。卒業後、20歳になった年にみんなで集まり、タイムカプセルを開ける計画だったようですが、結果的にはその後8年くらい放置されていたようです。私と連絡を取り合う中で1月に西中で同窓会を開き、タイムカプセルを開けることになりました。どれだけの卒業生が集まるかは不明ですが、それを知った卒業生はたいそう喜んで聞きました。

西中生は何年たっても西中生です。長い人生の中のたった3年間ですが、学校というところは、思い出や懐かしさが詰まった場所です。今では忘れてしまっているかもしれませんが、その3年間の中には教科の学びや楽しいことだけでなく、さまざまな葛藤や辛苦があったと思います。中学校での3年間は単なる人生の通過点というだけでなく、いろいろな学びと成長がある場所です。こう考えていくと、日本の学校というものは学習指導要領に示されている教科や道徳、特別活動に総合的な学習の時間の学習をするだけでなく、それらを通して人と人が触れ合い、さまざまな葛藤もあるけれど、人として成長するというかなりあたたかい場所なのではないかと思えます。

西中生はいつまでたっても西中生。3年生はあと4か月ほどで卒業です。卒業後、数年たって「西中ってよかったね」「楽しかったね」と旧交を温め合う場所でありたいです。



## 2年生「横浜イノベーション・カンパニー」中間発表

2年生が現在、総合的な学習の時間で取り組んでいる「イノベーション・カンパニープロジェクト」区役所の方からいただいた課題を解決し、自分たちの住むまち・西区を今以上にもっと活気のあるまちにするため、グループごとにプロジェクトを考えています。11月24日(金)、その中間発表を行いました。当日は西区役所地域振興課の方もいらっしゃり、発表を聞いていただきました。野毛山動物園で動物と触れ合うイベント、ゲームを行って通貨を集める企画、杉山神社でのフリーマーケットなど、「西区を盛り上げたい」という熱い思いがあふれるアイデアばかりでした。年度末の最終発表に向けて、今後も自分たちのプロジェクトをブラッシュアップしていきます。



## 中学校給食試食会 & 給食メニューボード

11月28日(火)、PTA主催で中学校給食試食会を行いました。本校の保護者の方だけでなく、西前小6年生の保護者の方も参加しました。まず、健康教育・食育課の方から中学校給食導入の経緯やねらい、令和8年度全員給食に向けての取組などの話がありました。その後、「にしとべの丘」で食育コラムを執筆いただいている元教育委員で料理研究家・食育コーディネーターの長島由佳様から中学校給食の栄養的価値についてお話をいただきました。



その後、参加した皆さんで喫食。この日のメニューは「ごはん・豚肉と根菜のケチャップソテー・チーズオムレツ・ほうれん草とウインナーのソテー・コールスロー・白菜のスープ」でした。「ごはんがあたたかい」「おいしい」などの声があり、中学校給食の味に皆さん満足された様子でした。



また、西中学校では現在、保健・美化委員の生徒たちが、その日の給食を紹介する「給食メニューボード」を毎日作成しています。生徒たちはもちろん、先生たちも「今日のメニューはなんだろうな」といった様子で、興味をもって見つめています。1Fホールに設置しているので、学校にお立ち寄りの際、ぜひご覧ください。

## 薬物乱用防止教室

11月20日(月)、外部講師をお招きし、全校生徒を対象に薬物乱用防止教室を行いました。覚醒剤、大麻、危険ドラッグなど違法薬物の種類だけでなく、その薬物が体にどのような害を及ぼすのか具体的な話がありました。特に大麻は10代、20代の検挙者数が年々増加傾向にあるそうです。違法薬物は自分には関係のないことと考えず、自分事として捉えて、「絶対に手を出さない」「誘いがあっても断る」ことが大切、と教えていただきました。





# コラム「食で学ぶ 食を学ぶ」12月号

もとよこはましきょういくいん ながしま ゆか  
元横浜市教育委員 長島 由佳

寒さが厳しくなる「師走」です。「師」とは、教えを導く法師や教師、専門的な知識を持った医師や絵師、上に立ち長となる人などのことを表す漢字です。そのような立場の人びとでも走り回るほどの時期だということであられたのでしょ。誰もが1年をまるく納め、気持ちよく新年を迎えるための準備をする大切な時期ということだと思います。

先日、PTA主催で学校給食試食会が開催されました。教育委員会の健康教育課から、給食の現状と今後の展望などの説明を受けました。そして私からは、お弁当と給食のそれぞれの良さと違いを伝え、食に関わるバランス・家庭における役割などお話しさせていただきました。

「食する」するという行為では、家族の健康・幸せを願い、楽しく過ごす時間であってほしいこと、また、その楽しい時間を過ごすために献立表を魔法の1枚にして欲しいと伝えました。配布される献立表には、食材のことや行事食などに関わるさまざまな情報がのせられています。加えて世界各国の食に関して社会や他教科のことも学べる魔法の1枚になっているからです。中学生は学ぶ科目が多く、そこに取られる時間も多いため、授業の中に「食育」としての時間を確保できないのが現状です。そのため「食」に関わる知識として、今後有効活用されていくのが献立表だと思います。

人は、新たな経験や知識の取得によって、考え、次の行動をしています。そしてその体験がさらに新たな思考を生み出し新たな行動へと繰り返されて成長していきます。

家庭内では、子ども達の成長とともに一緒にいられる時間はどんどん少なくなっていく。だからこそ、もっと身近な大人として、子ども達の師として、共通の話題を持つことが重要となってくるのです。

「食する」とは、体を健康に保ち成長させていくだけではなく、心をも育て『豊かな力』の源ともなる行動でもあることを改めて知ってほしいと思います。

師走の月、それぞれが多忙ではあるけれども、家族がより良い新年を迎えるために、「食」というツールをもとに、笑顔の新年を迎えるための準備を、それぞれしていただければと思います。

今年最後のレシピを掲載します。彩も綺麗なマリネです。クリスマスでも、新年のおせち料理のなますの代わりにもなります。家族で工夫して、タコの薄切りを加えてみたり、チキン料理に添えたりしながら、コミュニケーションのツールにいただければ幸いです。

## カリフラワーさわやかマリネ



カリフラワー 小1こ クコの実・松の実 各大さじ1

パセリまたはインゲンの小口切り んにく1かけ

A(オリーブオイル50cc 酢または柑橘のしぼり汁など50cc 塩1.5~2小さじ)

※オイルはごま油を混ぜれば、中華風にもなる)

- ① カリフラワーは小房に分け、たっぷりの沸騰した湯に入れて再沸騰後10秒数えて、ザルにあげる。
- ② クコは水につけておく。パセリならあらみじん切りにし、インゲンならばさっと茹でて小口切りにする。
- ③ 水気を切った①・松の実・調味料A、つぶしたニンニクをファスナーつきビニール袋などにいれ、よく混ぜ合わせる。途中返しながら味をなじませる。半日以上おくと味がなじんでくる。